助成金等公募情報

公益財団法人　山梨中銀地方創生基金

山梨中銀地方創生基金は、地方創生に資する取り組みを行う団体、個人等への助成を通じて、地域社会の繁栄と地域経済の活性化に寄与することを目的に2019年度助成事業の助成先を募集します。
◆起業・創業に対する助成事業【第2回】
◆U.・I・Jターンする個人に対する助成事業
助成を希望される方は、山梨中銀地方創生基金ホームページ掲載の募集要項にて詳細をご確認いただき、ご応募ください。

ブランドプロモーション支援事業補助金（令和元年度第2回）

地場中小企業者等が行う産地ブランド力を高める事業や、国内外の販路開拓を行う事業であり、他の地場中小企業者の新たな事業活動の誘因となりうる先導的事業及び自主努力旺盛な事業の一部を補助します。
分野1：地域活性化・まちづくり 販路拡大
分野2：補助金・助成金、委託費
対象地域：山梨県　　実施機関：山梨県　　応募締切：2019年8月21日（水）
助成を希望される方は、山梨県ホームページ掲載の募集要項にて詳細をご確認いただき、ご応募ください。

起業支援金・移住支援金

東京一極集中の是正及び地方の担い手不足対策のため、地方における起業、UIJターンによる起業・就業者を創出する地方公共団体の取り組みを地方創生推進交付金で支援します。
詳細につきましては、内閣府の地方創生推進事務局ホームページをご覧ください。

今後のイベント情報

イノベーション・ジャパン2019
大学見本市＆ビジネスマッチング

会　期：2019年8月29日（木）10:00~17:30
　　8月30日（金）10:00~17:00
会　場：東京ビッグサイト青海展示棟　Bホール（仮設）
主　催：国立研究開発法人科学技術振興機構
　　国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
概　要：国内最大規模の産学マッチングイベントであり、JSTがえりすぐった大学等の研究成果が展示されます。

【山梨大学出展研究者】
生命環境学部生命工学科　岸上哲士教授
医学部解剖学講座細胞生物学教室　吉村健太郎講師
工学部機械工学科　野田善之准教授
工学部電気電子工学科　關谷尚人准教授

令和元年度やまなし産学官連携研究交流事業

産学官連携による 研究発表会

県内最大級

山梨大学、山梨県との共同により、県内の中小企業が大学や公設研究試験機関と連携して研究開発を実施しすることを推進しております。
山梨大学、県試験研究機関、企業で実施しました、機械・電子・食品・環境・地場産業などの幅広い研究テーマについて、口頭発表およびポスター展示を通してご紹介いたします。
また、基調講演も開催いたします。
今年度は本学出身で、**現在本学客員教授、サントリースピリッツ株式会社　名誉チーフブレンダーである奥水精一氏を講師にお迎え致します。**
入場料無料となっておりますので、ぜひご来場いただき、産学官連携に繋がる技術交流、人材交流の場としてご活用ください。

会期：2019年10月10日(木)　14:00～

会場：ベルクラシック甲府

【発行　2019年8月5日】
国立大学法人 **山梨大学**
研究推進・社会連携機構
新技術情報クラブ事務局
〒400-8510　山梨県甲府市武田4-4-37
TEL：055-220-8754　FAX：055-220-8757
E-mail：renkei-as@yamanashi.ac.jp
URL：http://www.scrs.yamanashi.ac.jp/

NO. 1
August
2019

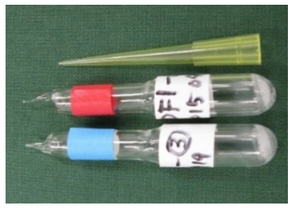
新技術情報クラブ CLUB NEWS

国立大学法人　山梨大学

大学TOPICS

精子を凍結乾燥　「宇宙マウス」誕生

山梨大学発生工学研究センターの若山照彦教授、若山清香特任助教、JAXAの矢野幸子主任研究開発員ら研究グループは、9カ月間フリーズドライ保存したマウス精子のDNA損傷度を明らかにし、正常な繁殖能力を持つ、健康な産仔を作出することに初めて成功しました。
実験では、4種類12匹の雄マウスから集めた精子を凍結乾燥（フリーズドライ）処理し、複数の容器に封入、国際宇宙ステーション（ISS）にある「きぼう」日本実験棟で9カ月間保存し、分析しました。分析結果から、精子への宇宙放射線被ばく量は、地上で計測した放射線量の約100倍に相当することが判明し、さらにDNAの損傷度も地上に比べ損傷の割合が高くなることを突き止めました。しかし、一方ISSで保存した精子の多くが、人工授精で卵子との受精を確認でき、さらに雌のマウスに移植したところ、全ての種類のマウスから、合計73匹の“宇宙マウス”が誕生しました。このことから、DNAの損傷は受精や繁殖にさほど影響がないと思われます。
若山教授は、さらに長期間保存した精子を使い、宇宙の放射線の影響を調べたいと話しています。


凍結乾燥したマウスの精子アンプル

顕微授精に使われるマイクロマニピュレーター

凍結精子から誕生した宇宙マウス

県内5大学と山梨経済同友会が産学連携協定を締結

7月19日（金）、古名屋ホテルにおいて県内5大学（山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、山梨学院大学、英和大学）と山梨経済同友会の産学連の締結式が挙行されました。
この協定は、地域人材の育成を目的に締結され、今後は県内の大学生を対象とした「つばさを広げる会」と題した勉強会を10月より開催していきます。
この会では、彩選対で活躍する経営者やクリエイターを講師として招き、これからの変革の時代に対応できる人材育成を目指しています。

「山梨大学個別相談会」を山梨中央銀行吉田支店にて開催

令和元年7月23日（火）、山梨中央銀行吉田支店において、本学主催、同行共催の「山梨大学個別相談会」を開催しました。
これは、企業等が抱える技術的な課題、問題等について本学研究推進・社会連携コーディネータが相談に応じ、本学の技術・ノウハウ・知見等をご紹介する取り組みです。今年度第1回目は、同行が中心となって郡内地域の企業等に呼びかけて、多くの申込みをいただいての開催となりました。
当日は、超音波利用の獣害対策、住宅の快適性等の研究、賞味期限延長化対策、自社製品への最新通信技術の応用、動物の臭害対策。熱効率の検証など、多岐にわたってご相談いただき、対応策のヒントや提案及び研究者のシーズの紹介などを行いました。

相談対応する還田社会連携・知財管理副センター長（右）、石田産学連携コーディネータ（中）、内藤地域連携コーディネータ（左）

産学官連携TOPICS

「やまなし食のマッチングフェア2019 」in TOKYO」に出展！

去る7月19日(金)に山梨中銀主催の「やまなし食のマッチングフェア2019 in TOKYO」が京王プラザホテル(新宿区)4階「扇」で開催されました。
今回は神奈川からも5社、全部で73の出店(山梨の大学と山梨県の4団体を含む)がありました。フェアは農産物を取り扱う事業者と首都圏を中心とした食のバイヤーとの展示商談会ですが、本学は事業者様との技術相談や研究成果のポスター展示、大学パンフレットや技術シーズ集の展示配布を行いました。会場は試食・試飲のアピールもあって商談エリアがにぎわっており、こだわりをもった事業者の熱い説明が印象的でした。

山梨大学ブースにて、山梨大学早川理事

「韮崎オープンファクトリー2019」が開催されました

オープンファクトリーとは、各工場が見学者に公開してより親しんでもらう企画です。ニラサキ オープンファクトリーは、韮崎市商工会が中心となって、初めての試みとして7月26日・27日の二日間で開催されました。
韮崎市は、歴史と文化の街と称されることが多い、山梨県下でも有数の「ものづくりの街」の名を持つ地域です。長年この地域に立地し卓越した技術や生産能力を保有している製造生産工場が数々があります。工場の存在は知ってるが、「どんな会社か」、「何をしてるところか」、「社会とどのような関係か」という疑問に答えるため、オープンファクトリーを通じて、韮崎市の工場や施設を一斉に公開致しました。山梨大学も参加し、駅傍にあるニコリ内に設置された事務局と並んでブースを設置して大学のPRを致しました。

山梨大学ブース（ニコリ内）

燃料電池講座・施設見学会のご案内

燃料電池関連製品開発人材養成講座の講義の一環で下記のごとく施設見学を実施します。基本は講座の受講生が対象ですが、水素・燃料電池への理解を深めていただくために、毎年、受講生以外にもお声かけしています。
余裕がある場合には参加可能ですので、お問い合わせください。

【日時】 2019年8月29日（木） 7:00～18:00（予定）

【見学場所】 千代田化工建設　子安事業所 （神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目13番地）
川崎マリエン （神奈川県川崎市川崎区東扇島38-1）

【経費】 インスパ横浜の昼食代　1,620円、保険　200円

【お問い合わせ先】 研究推進・社会連携機構　水素・燃料電池技術支援室

コーディネータ による【研究者紹介】

機械工学科　　舩谷　俊平　准教授

今回は工学域機械工学系（機械工学科）の舩谷俊平准教授を紹介します。
先生は流体の流れを見える化する計測技術の開発に取り組んでおりまして、例えば気流に蛍光微粒子を混入させてレーザー光を照射して画像を撮影し、画像処理することによって気流の速度と温度の分布を2次元もしくは3次元的に「見える化」することが可能になります。画像処理による計測技術のため、多くのセンサと計測機器を導入する必要がなく可視化機器の導入費用が軽減できる特徴があります。
また、温度センサーやサーモグラフィーよりも計測対象が幅広く、エアコンやラジエーターなどの熱交換器の熱設計などに力を発揮できるそうです。
最近では、加熱炉や燃焼器内といった数百～千数百℃くらいになる高温環境下でも温度測定可能な蛍光微粒子の開発にも取り組まれているとのことで、さらなる利用範囲の拡大にも力を入れておられます。空調機器メーカーの研究開発部門に所属していた経験もあり、可視化計測システムだけでなく、気流を活用した機器の開発、加熱、冷却を伴う機器の開発などにおいて、未解決の課題などございましたらお気軽にご相談くださいとのことですので、今後の研究の進展と産学連携に期待したいところです。

舩谷　俊平准教授

大学TOPICS、新技術情報クラブ報告

アカデミックサロン（第25回）を開催しました！

第25回アカデミックサロンを6月28日にアジールで開催しました。今回はコンピュータ理工学科の小俣昌樹准教授から「ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンス」と題しまして、コンピュータなどの情報機器と人間との情報のやり取り、サービスなどの利用を通して得る経験やその質・使い心地や印象などユーザエクスペリエンスにおける生理心理学的な側面ついてお話していただきました。開発している機器の改善する手法として、ユーザインタフェースやユーザエクスペリエンスが手掛かりの一端となることが垣間見られるお話で質疑応答も活発に行われました。また、お話とは別に先生が使用しておりましたPrezi(プレジー)というソフトウエアもみなさん興味津々でした。

第25回アカデミックサロン風景

第26回アカデミックサロンの開催決定！

第26回アカデミックサロンを8月23日(金)午後4時からアジールで開催します。
お話しいただくのは機械工学科の大原伸介助教で「ロボットを支える制御技術」題しまして、ロボットを上手に制御するにはモデリングが重要な役割を果たすということについて、お話していただきますので、ふるってご参加ください。